

5 . 費用対効果

B / C 【残事業費】

路線名	国道 2 0 号
事業名	下諏訪・岡谷バイパス
延 長	L = 4 . 6 k m

便益

(単位 : 億円)

	走行時間便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合計
基準年	平成 1 8 年度			
基準年における 現在価値(B)	2 9 2	1 0	1 1	3 1 4

費用

(単位 : 億円)

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成 1 8 年度		
単純合計	1 7 6	5 2	2 2 8
基準年における 現在価値(C)	1 1 0	1 1	1 2 1

算定結果

費用便益比				
B	/	C	$\frac{\text{便益の現在価値の合計 (B)}}{\text{費用の現在価値の合計 (C)}}$	= $\frac{3 1 4 \text{ 億円}}{1 2 1 \text{ 億円}}$
=			=	2 . 6

注) 1 . 費用及び便益額は整数止めとする。

2 . 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。